



春先のトラックレースでは、古賀淳紫選手、鈴木創士選手、マゴマ・ベヌエル・モゲニ選手の3名が5000mで自己最高記録を更新しました。大畑和真選手、漆畑瑠人選手も自己最高記録に近い記録を出すなどますますの滑り出しとなりました。新人の九嶋恵舜選手、辻文哉選手はなかなかコンディションが整わず苦戦を強いられましたが、中でも最低限の内容でレースをまとめるなど、今後の成長が期待されます。

また、昨年度はケガの影響でレースに出場できなかった助川

拓海選手が、今シーズンは順調にレースに出場しています。まだ本調子とはいかないものの、少しずつ、確実に前進している助川選手の姿は、チームにとっても大きくプラスになっています。

これから各選手は駅伝、マラソンなど各種ロードレースを見据えて、夏の鍛錬期を迎えます。厳しい合宿を乗り越え、秋にはレベルアップした姿をお見せができるよう選手、スタッフ一丸となって精進します。

今後とも応援よろしくお祈りします。



春先から好調を維持しているモゲニ選手



5000mの自己記録を更新した古賀淳紫選手

ケガを乗り越え、成長を見せた助川拓海選手



選手コメント

助川 拓海

「もう走れないかもしれない」そう思いスタートした2024年でしたが、無事復帰がかない、レースも4戦出場することができました。満足いく結果ではありませんでしたが上期は基礎固めの期間と決めていたため、大きなケガがなくレースに出場できたことで自らの成長を実感しました。1年の中で最も充実した日々を過ごせる夏合宿を乗り越え、駅伝シーズンに向け強化にいそしんでいきます。